

断面 26

暗赤色土壌 その3

母材料：石灰岩に火山灰混合

採取地：岐阜県不破郡赤坂町 民有林

海拔高：320 m

地 形：山頂緩斜面

方 位：N

傾 斜：2°

林 相：アカマツ天然林（アカマツ・ネザサ）

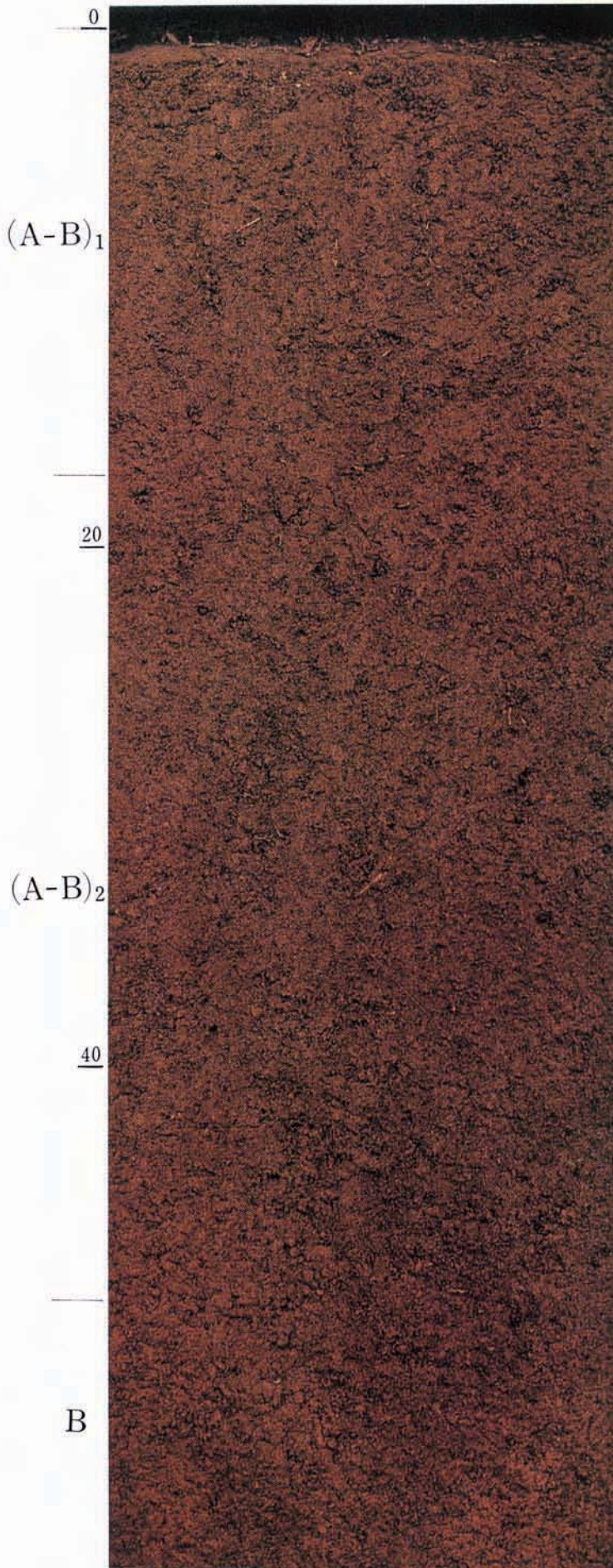
断面記載：

A₀ ほとんど認められず。

(A-B)₁ 15 cm 赤褐色 (10 R^{4/4})，腐植を含む，細礫あり，埴土，塊状，やや堅，潤，細根まれ，次層との境界は漸。

(A-B)₂ 30 cm 暗赤褐色 (2.5 YR^{3/4})，腐植を含む，細礫あり，埴土，構造なし，やや堅，潤，細根まれ，次層との境界は判。

B 50 cm + 赤褐色 (2.5 YR^{4/6})，腐植に乏し，細礫あり，埴土，構造なし，堅，潤。



採取年月日：1965年12月15日

石灰岩を母材とした土壌には、にぶい赤褐色で腐植含量の少ないものと、チョコレート色で腐植の多いものと、2つの型の土壌がしばしばみられる。前者はテラロッサ様土、後者はレンジナ様土とも呼ばれている。

一般に埴質で緻密な土壌が多く、また化学性は微酸性ないし塩基性で、置換性の石灰に富む。

この断面は、比較的腐植含量の少ない型のひとつであり、山頂緩斜面のやや凹形になったところの土壌で、石灰岩風化物に火山灰を混入した母材からなる。有機物の浸透が悪く、堅密で、理・化学性ともよくない。

アカマツ天然林下にネザサが密生しているが、林地としての生産力はやや低い。

このような土壌では、安定した地形面の埴質な土壌だと、林木の生育は悪いが、斜面中、下部の水分が潤沢で構造が発達するようなところでは、林木の生育にかなりの期待をもてる。

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	CEC m.e	置 換 性		Ca/CEC	Mg/CEC
							Ca	Mg		
(A-B) ₁	3.0	0.25	12	6.50	0.3	19.75	17.04	0.02	86.3	0.10
(A-B) ₂	3.7	0.22	17	5.40	9.2	24.07	0.98	0.01	4.07	0.04
B	1.4	0.10	14	5.20	23.3	15.82	0.22	tr.	1.39	

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比							土 壌 中 の 粘 土 鉱 物				
	石灰岩	褐鉄鉱	石 英	長 石	火 山 ガラス	輝 石	磁鉄鉱	アロフェ ン	ギ ブ サイト	加水ハロイサイト ・ ハロイサイト	メタハロ イサイト	14~15 Å 物
(A-B) ₁	8.5	43.1	30.9	3.0	11.5	0.6	2.4	+	++	+		++
(A-B) ₂	7.5	36.3	22.1	0.9	30.1	2.2	0.9	++	+	+		+++
B 上	12.0	59.4	13.7	0.4	11.6	0.8	2.1	+	++	+		+++
B 下	8.3	70.2	18.4	0.4	1.8		0.9	+	++	+		